



防衛医大病院広報誌第7号 発行日 令和4年1月27日
企画・編集 防衛医科大学校病院 患者支援センター
発行責任者 塩谷 彰浩
住 所 〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2
TEL 04-2995-1511

まもる 防衛医大【護】通信

事務部長挨拶

事務部長 酒井 行信

日頃から防衛医科大学校病院の医療に関し、御理解・御協力有難うございます。

護(まもる)の第7号の発行にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

改めまして、私は令和3年4月に当院の事務部長として着任致しました酒井行信と申します。

私は、昭和62年に防衛庁(現防衛省)に事務官として採用され、これまで会計部門、ミサイルの開発部門、施設維持部門、国際関係など様々な部署で勤務して参りました。

ただ、病院勤務は初めての勤務であり、年齢はアラ還なのですが、「一年生」という意識で、連日連夜業務に邁進しております。

私の公務員人生を振り返って見れば、病院の事務、ことに地域医療連携業務に関して申せば、広報課に在籍していた時の事務と共通のものがあると感じております。

広報の目的の一つに、地方公共団体や地元住民に対し、平素から防衛省・自衛隊の政策や活動に関することを積極的に広報等行い、国民が防衛行政に理解を深め支持を拡大するというものがあります。

そのような趣旨・目的を病院の事務(地域医療連携)に当てはめると、地域医療連携業務は日頃から地域医療連携検討会などの活動の場を通して顔の見える交流を図り、お互い信頼関係を築き、地域医療に貢献することが非常に重要な業務であると認識しております。

また、本誌「護」も、近隣の医療機関様に当院の理解を深めて貰うための一助になっていることを確信しております。

当院は、高度で安全な医療を提供し地域医療に貢献すべく患者支援センターをはじめ病院全体で諸々の取り組みを行っているところですが、最近ではコロナ禍という状況もあり、近隣の医療機関等の関係者の皆様方と顔の見える交流が難しい状況です。今後、各種会議・活動の場で(防衛医大病院の)丸刈りの中年おじさんを見かけられましたならば声をかけて頂ければ幸いです。

最後になりましたが、当院と近隣の医療機関様との間でより強固な地域医療連携を図ることができるよう当院と致しましても努力して参りますので、皆様方におかれましても更なる御協力の程、宜しくお願いを致します。

以上をもちまして「護」第7号発刊にあたっての挨拶とさせていただきます。



運営企画課長挨拶

運営企画課長

五十嵐 昭善

新年、あけましておめでとうございます。本年も宜しく願い致します。

昨年4月の人事異動で、病院事務部運営企画課長として拝命しました五十嵐昭善と申します。

前勤務場所は、同じ防衛医大の学校地区にあります事務局経理部主計課会計監査室で、主に、会計の監査業務に関する業務を1年間、従事していました。

病院事務部運営企画課では、病院の総務業務全般を行っており、特に病院運営改善の企画等収益性の追求を実施することなど、業務が多岐に渡っています。

防衛医大病院では、医師・看護師・薬剤師・検査技師等専門性のある人々が日々、患者さんの対応等を実施しており、その際、病院職員が仕事により専念できる環境づくりや業務の平準化等に少しでも注力できればと考えています。

また、地域の皆様に、防衛医大病院なら安心して自分の家族を診てもらえることができると心から思っていただける病院を目指していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく御支援の程、お願い致します。



運営支援課長挨拶

運営支援課長

河邊 和広

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしく願いいたします。

昨年4月、自衛隊三重地方協力本部副本部長から病院事務部運営支援課長として着任しました河邊和広と申します。

防衛庁に入庁し早30有余年、現ポストが最終補職になりますが、この間の大半を陸上自衛隊の事務官として勤務してきた私にとって病院勤務はあまりにも異なることが多く、また、会議・委員会等では聞き慣れない言葉が飛び交い、未だに戸惑うことが結構あります。

運営支援課は、大きく分けて、医事、医療照査、医療訟務、人事、施設、給食の6つの業務を担当していますが、広範多岐にわたる独立した業務であるため、それぞれを確実に掌握するよう努めております。

また、患者さんと直に接する場面も多く、ともすれば、お役所仕事になりがちですが、患者さんの立場に立ったサービスを一番に考え、これからも取り組んでいく所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。



2021年度第2回地域医療連携検討会を12月7日に開催致しました

テーマ『ACP(アドバンス・ケア・プランニング)についてがん患者を中心に考える』

司会 患者支援センター長 池脇 克則

1 「がんの患者に対する ACP」

防衛医科大学校病院 緩和ケア室 講師：吉川 智之先生

家族の視点で見たがん患者の ACP の重要性について「そのときは突然やってくる」「患者の意識がない時に選択をする家族の戸惑い」「患者にとって代理決定者は誰なのか」本当に信頼できる人は誰なのか？それは医師や偉い人ではなくそばにいる時間が長い人、自分のことを心配してくれる人だろう。がん患者の ACP のタイミングは予後 1～2 年となったとき。緩和ケア外来への紹介のタイミングは、予後 1 年以内と推定された 3 ヶ月以内にコンサルトしてほしい。早すぎても遅すぎても活かせない。ACP は何度も変更・更新が可能である。医療従事者が間に入って調整するプロセスが重要である。

2 「ACP を考えるー在宅医療に関わる医師の立場からー」

双葉クリニック 院長：小野田 忠先生

2025 年所沢市で自宅で亡くなられる患者さんは 1000 人を超え 4 人に 1 人と推定。コロナ禍で自宅への退院希望は 2 倍。自分らしい尊厳のある人生の幕引きを迎えるために、元気な今、医療・ケアチームとご家族で繰り返し話し合うことが尊厳のある終焉を迎えるために重要。考えるタイミングは「患者さんが 1 年以内に亡くなったら不思議に思うか」と問われて「NO」と答えるようなら ACP を始めるタイミングである。予後 3～4 か月では遅い。BSC 移行期の医療者の役割として、「緩和医療」は生活の土台作りで一番大切になる。方針を決める「退院支援」と「退院調整」はどこにつなげていくかということ。そして家族と在宅医療チームにサポートされ看取りへつないでいく。ACP とは患者さんが大切にしていることや意向を考えて周りの人に伝えていく一連のプロセスである。

埼玉県医師会作成「私の意思表示ノート」所沢市で作成した「しつこノート」の紹介をいただいた。

3 「緩和ケア病棟相談員からみた ACP」

信愛病院 患者サポート総括センター長：山本 真由美先生

信愛病院緩和ケア病棟の平均在院日数は 14～26 日と短く入院してからでは効果的 ACP は望めない。患者さんの言葉で話ができるときに進めるべきである。患者さんを支える家族は患者さんの気持ちを受け止めてきているのか、どんな最期を望んでいるのか、残された時間を誰にフォーカスして話をしていくかを相談員として大切にしている。最期を穏やかに迎えるためには、外来通院の段階での何気ない会話からその人の考えを聞いてみる。東京版「私の思い手帳」の活用について紹介された。

【全体討論】

座長 防衛医科大学校病院 外科学講座 3 教授：岸 庸二先生

Q:所沢市では stageIV の 20%の方が在宅医療を受けている。ACP が進んでいないと感じる。

吉川先生より、患者さんの気持ちを尊重する上で、大学病院で治療中でもトラブルにならない程度に医療者から ACP の話をすすめてほしい。

小野田先生より、市内で ACP の講演をすると当事者としてネガティブな気持ちが 8 割みられた。突然チェックリストを行うのではなく、ライフスタイルと価値観をみながら少しずつ進める。

山本先生より、実際に ACP を父に行ってみた。孫に囲まれ笑いながら明るく話しやすい環境づくりをした。話しやすい環境で「どう生きたいか」を話し合うことが大切である。

会場参加者 79 名でした。お忙しい中ご参加ありがとうございました。

アンケート結果より、ACP を始めるタイミングについて、今回事例を出していただき具体的な取り組み時期がわかり勉強になったという意見が多くありました。



病院理念

高度で安全な医療を提供しつつ地域医療並びに自衛隊の医療・衛生活動に貢献し、優れた自衛隊医官・看護官等を育成します。

基本方針

- 1 患者さんの視点に立った、安全で良質な医療を提供する
- 2 地域医療機関と密に連携し、地域に貢献する
- 3 高度で先進的な医療を追求する
- 4 地域の中核として救急医療を追求する
- 5 新興感染症に対して敏速対応できる体制を整える
- 6 災害対処能力の向上に努める
- 7 使命感をもち、優れた臨床能力を有する医官・看護官等を育成し、自衛隊医療に貢献する

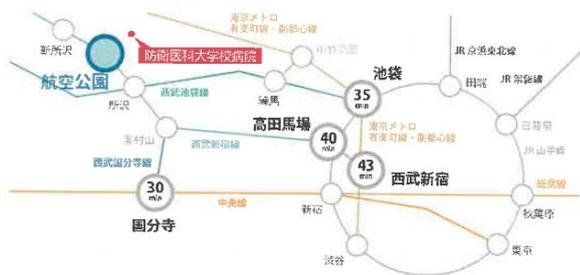
【初診予約についてお願い】

当院の精神科、感染症・呼吸器内科、脳神経内科、膠原病内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、泌尿器科(泌尿器科一般・尿路腫瘍)、泌尿器科特殊外来【尿道狭窄症・尿失禁(男性)】、消化器内科特殊外来(脂肪肝炎)の初診外来は完全紹介予約制とさせて頂いております。

上記診療科初診希望の患者さんを紹介頂く場合は、医療機関の皆様から当院地域医療連携センターへ FAXにて初診予約をお願い致します。患者さんからの予約は受付しておりません。ご理解・ご協力を宜しくお願い致します。

地域医療連携センター(初診予約・病状照会等連絡先) 内線 3043・3882 FAX 04-2995-1130

アクセス(交通のご案内)

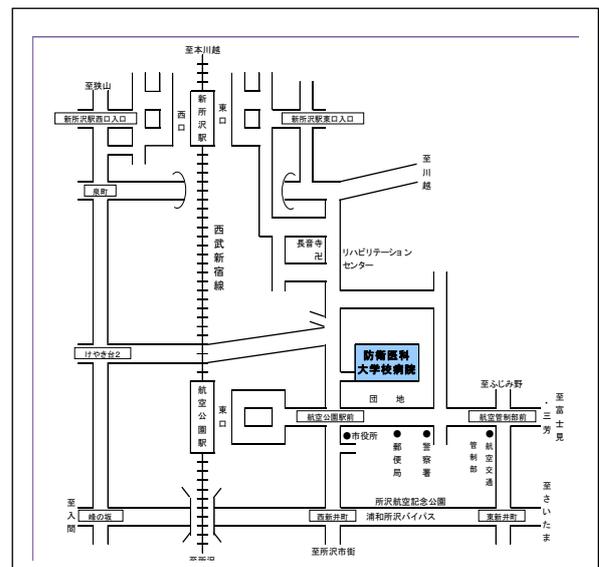


●電車でお越しの方

西武新宿線『航空公園駅』下車徒歩5分

●車でお越しの方

浦和所沢バイパス「西新井町」交差点を右折し約 600m



医療連携の連絡先

地域医療連携センター
初診予約、緊急入院・受診、
セカンドオピニオン等
TEL:04-2995-1511
内線 3043・3882

患者支援センター
転院・退院調整、在宅調整、医療福祉相談、
がん患者相談等
TEL:04-2955-1511
内線 6123~6126